

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application:

2000年 5月11日

出願番号
Application Number:

特願2000-139115

出願人
Applicant (s):

日本電気株式会社

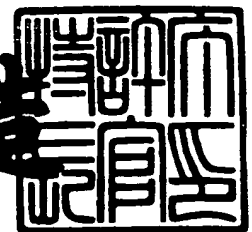
JCE62 U.S. PRO
09/851424
05/09/01

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 2月16日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3008557

【書類名】 特許願
 【整理番号】 34803429
 【提出日】 平成12年 5月11日
 【あて先】 特許庁長官 殿
 【国際特許分類】 G06F 13/00
 G06F 17/60

【発明者】
 【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日本電気株式会社内
 【氏名】 塚本 雄二

【発明者】
 【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日本電気株式会社内
 【氏名】 辻澤 隆彦

【特許出願人】
 【識別番号】 000004237
 【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】
 【識別番号】 100065385
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 山下 穰平
 【電話番号】 03-3431-1831

【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 010700
 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1
 【物件名】 要約書 1
 【包括委任状番号】 9001713

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 貸し出し用映像記録媒体の流通システムとそれを利用した広告システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 映像マスターの頒布権行使委託契約を映像製作会社と複製業者の間で締結し、前記複製業者は前記映像製作会社から、記録媒体（以下、子マスター記録媒体）へコピー可能な前記映像マスターの配布を受け、前記複製業者から前記映像製作会社には締結された前記頒布権行使委託契約に基づき定められた前記映像マスターの使用料が支払われ、

前記複製業者は前記子マスター記録媒体を作製する媒体作製装置と、前記子マスター記録媒体を貸し出し事業者の有償で貸与する貸与装置とを備え、前記複製業者と前記貸し出し事業者の間に上記子マスター記録媒体等に関わる供与契約が締結され、

前記貸し出し事業者は顧客の所望するビデオソフトが記録された前記子マスター記録媒体から、前記顧客に貸し出す持ち運び可能な記録媒体（以下、リムーバブル型記録媒体と略す。）にビデオソフトを記録するダビング機を備え、前記リムーバブル型記録媒体を貸し出す際に前記顧客と前記貸し出し事業者との間で結んだレンタル契約に基づいたレンタル料金を、前記貸し出し事業者は前記顧客から徴収し、前記複製業者が前記映像マスターから作成した映像タイトル名と、前記映像マスターから作製した前記子マスター記録媒体の本数と、前記子マスター記録媒体を配布した貸し出し事業者名と、前記貸し出し事業者が前記子マスター記録媒体から顧客への貸し出し用に作製した前記リムーバブル型記録媒体の映像タイトル名と、前記リムーバブル型記録媒体の本数と、貸し出し期間と、貸し出しを受けた前記顧客の属性と、前記顧客から前記貸し出し事業者への返却に関する情報とを、各種著作権協会、前記映像製作会社、前記複製業者、および前記貸し出し事業者間に相互に接続されたネットワーク又は P O S （POINT OF SALES）端末を介して交換し、著作権料と、上記の商行為に対して予め定められた料金の請求と、徴収とを相互に行うことを特徴とする貸し出し用映像記録媒体の流通システム。

【請求項2】 前記映像製作会社から前記複製業者への前記映像マスターの配信、および前記複製業者から前記貸し出し事業社への前記子マスター記録媒体の配信が、衛星放送又は地上波放送を介した映像データの送信、インターネットを介した映像データの送信、又は前記映像マスターと前記子マスター記録媒体の物理的手段を伴う輸送によって行われることを特徴とする請求項1記載の貸し出し用映像記録媒体の流通システム。

【請求項3】 前記貸し出し事業者において前記顧客に貸し出す前記リムーバブル型記録媒体を作成する際に、貸し出す前記リムーバブル型記録媒体に容易に貼り付けおよび取り外し可能で且つ前記リムーバブル型記録媒体に記録した映像タイトル名と、貸し出し期間と、貸し出した顧客名と、顧客管理用の顧客の属性データとを印刷した貸し出しと顧客管理用ラベルをラベルメーカーで作成し、そのラベルを貼り付けた後に前記顧客に前記リムーバブル型記録媒体を貸し出すことを特徴とする請求項1記載の貸し出し用映像記録媒体の流通システム。

【請求項4】 前記子マスター記録媒体に記録された映像情報を貸し出し用の前記リムーバブル型記録媒体に記録する装置と、貸し出しと顧客管理用ラベルを作成するラベルメーカー、および前記リムーバブル型記録媒体の保守管理に関わる業務委託契約を前記複製業者と前記貸し出し事業者との間で締結し、委託契約に関わるすべての機器や前記記録媒体の配送、保守、管理の業務に関わる費用を前記貸し出し事業者から前記複製業者が前記ネットワークもしくはPOS端末を介して相互に得られる情報に基づいて徴収することを特徴とする請求項1記載の貸し出し用映像記録媒体の流通システム。

【請求項5】 不正なコピー行為と不正コピー行為によるデジタル映像情報の流出を防止するために、前記子マスター記憶媒体と前記リムーバブル型記録媒体自身にクロック機能を設け、前記複製業者／前記貸し出し事業者間および前記貸し出し事業者／前記顧客間で契約した一定時間経過後、もしくは所定のダビング回数に達した時点でそれぞれの記録媒体から自動的に前記映像情報が消去されることを特徴とする請求項1記載の貸し出し用映像記録媒体の流通システム。

【請求項6】 広告契約を複製業者と締結したCMスポンサーが希望するコマーシャル（以下、CMと略す。）映像を映像製作会社同意のもとで、映像ビデ

オソフトの放映が開始する前か又は終了した後に挿入した子マスター記録媒体を前記複製業者で作成するか、CM映像のみを記録した前記子マスター記録媒体を前記複製業者で作成し、貸し出し事業者でリムーバブル型記録媒体にビデオソフトを記録する際に貸し出し用リムーバブル型記録媒体に同時に記録し、前記CMを挿入することにより、前記複製業者はCM料金を前記CMスポンサーから徴収し、前記複製業者と前記貸し出し事業者間で交わした契約に基づいて前記CM料金の一部を前記貸し出し事業者に配布することを特徴とする貸し出し用映像記録媒体を用いた広告システム。

【請求項7】 請求項6記載の貸し出し用映像記録媒体を用いた広告システムにおいて、前記CM映像内に前記CMスポンサーが提供するホームページ又はプレゼント、宝くじ顧客が利益を受けることができる情報の画面に移行するアイコンを設け、前記顧客がCM映像視聴中に前記アイコンをクリックするとインターネットを介して上記情報の画面に移行し、この画面に移行中に前記CMスポンサーの許諾を受け、予めテレビで放映され、前記リムーバブル型記録媒体とは別の記録媒体に記憶されたCM画像を提供し、上記一連の行為を行った顧客の数及び顧客の属性を前記インターネットを介して収集記録し、上記一連の行為を行った前記顧客の数に応じて、または収集記録した顧客の属性を前記CMスポンサーに提供することによって、料金を前記CMスポンサーから徴収し、その徴収料金を前記複製業者と配分することを特徴とする貸し出し用映像記録媒体を用いた広告システム。

【請求項8】 映像マスターから子マスター記録媒体を複製し、この子マスター記録媒体からリムーバブル記録媒体を製作して貸し出し用とする貸し出し用映像記録媒体の流通システムにおいて、

前記映像マスターから、少なくとも映像タイトル名と、出演者名の情報を付帯して前記子マスター記録媒体を複製する子マスター記録媒体複製装置と、前記子マスター記録媒体からリムーバブル記録媒体を製作するダビング装置と、該ダビング装置によるリムーバブル記録媒体に貼り付ける貸し出しと顧客管理用のラベルを作製するラベルメーカー装置と、貸し出し及び納付時に運営情報を通報するPOS端末とを備え、

前記リムーバブル記録媒体に、少なくとも映像タイトル名、貸し出し期間、貸し出した顧客名、顧客管理用の顧客の属性データを印刷した前記貸し出しおよび顧客管理用ラベルが添付され、納付の際に、前記POS端末で少なくとも映像タイトル名、貸し出し期間、貸し出した顧客名、顧客管理用の顧客の属性データを取得することを特徴とする貸し出し用映像記録媒体の流通システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、記録媒体に顧客の希望する映像を記録し、その記録媒体を顧客に貸し出す映像記録媒体の流通システムと、顧客に貸し出す映像記録媒体とインターネットを融合した広告システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来の映像記録媒体の貸し出しに関する流通システムを、図3に示す。図3を参照して、従来の流通システムについて説明する。映像製作会社1、ビデオソフトメーカー6の両者は、ビデオソフトの頒布権行使委託契約15を締結する。映像製作会社1からビデオソフトメーカー6にはビデオソフト作成用のマスターテープがマスターテープ供給17として配布され、そのマスターをもとにビデオソフトメーカー6では複数の貸し出し用ビデオソフトが作成される。そのマスターテープの供給17の対価として映像製作会社1に使用料金支払い16として支払われる。なお、この貸し出し用ビデオソフトには現在主に磁気テープが用いられており、一部レーザーディスクやDVD-ROM等の読み出し専用光ディスクも適用されている。

【0003】

ビデオソフトメーカー6から映像製作会社1には提供されたマスターテープに対する対価が支払われる。ビデオソフトメーカー6と貸し出し事業者3との間には中間流通業者として卸業者7が存在する。ビデオソフトメーカー6からは貸し出し用ビデオソフト等の貸し出し用備品61が卸業者7を介して貸出用備品の供給71として貸し出し事業者3に供給される。一方、卸業者7からビデオソフト

メーカー6には使用料金支払い62として支払われ、貸し出し事業者3から卸業者7にはビデオソフトの購入代金支払い72として支払われ、その際、本数が報告されるとともに、ビデオソフトの購入代金72が支払われる。なお、中間流通業者として卸業者7が存在しない、直接販売契約も当然存在する。

【0004】

また、ビデオソフトの著作権使用料等の徴収に関わる使用料徴収委託契約51がビデオソフトメーカー6と各種著作権協会5との間で締結されており、ビデオソフトメーカー6から各種著作権協会5へ著作権使用料52が支払われる。

【0005】

著作権等の使用許諾契約に関しては、図4に示すように、ビデオソフトメーカー6と貸し出し事業者3との間に、頒布権委託協会（例えば、特殊法人である（社）日本映像ソフト協会）8が存在し、ビデオソフトメーカー6と頒布権委託協会8の間に頒布権行使委託契約64が結ばれる。また、貸し出し事業者3から頒布権委託協会8にレンタル許諾のための許諾申請書の提出81を行い、許諾が認められたら頒布権委託協会8から貸し出し事業者3に加盟店プレート交付83が行われる。この交付とともに、頒布権委託協会8と貸し出し事業者3との間に貸し出し業務許諾契約84が結ばれ、貸し出し事業者3と各種著作権協会5との間にも貸し出し業務許諾契約84が結ばれ、著作権使用料がシステム加入料支払い81として支払い、頒布権委託協会8を通して各種著作権協会へ支払われる場合もある。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

以上のような、従来の映像記録媒体の貸し出しに関する流通システムには、次のような状況と問題点がある。

【0007】

(1) 貸し出し事業者がビデオソフトを購入する場合に、需要の度合いをおもんばかって、予め同時にレンタルされる本数やレンタル回転率をある程度正確に予測する必要がある。この予測が不正確で予測よりも多くビデオソフトを購入した場合には、貸し出し事業者は不良在庫を抱えることになる。逆に、予測を越え

たレンタル数があった場合には、顧客が借りたくても、ビデオソフトが店頭に無いという機会損失を招くことになる。

【0008】

(2) 前述した状況(1)はビデオソフトメーカーにとっても、同様であり、マスターテープから作成する貸し出し用磁気テープの本数が問題である。例えば、貸し出し回転率の悪いビデオソフトは、価格を下げて販売用のセルビデオとして中古市場に流出するため、セルビデオソフトの価格も同時に低下する。

【0009】

(3) 磁気テープを用いた従来のビデオソフトには、番組の冒頭または終了後に映像製作会社が今後新たに製作する映画や、新たに販売を開始するビデオソフトのCMが挿入されていることが多い。このCM挿入、すなわち広告収入によりビデオソフトの価格を低く抑えることができるという利点があるが、レンタル開始後時間経過したビデオソフトでは、CM効果が得られないばかりか、新着ビデオに関して、視聴者に混乱を招く場合もある。

【0010】

(4) 流通システムの問題ではないが、磁気テープはレンタル回数を重ねる毎に画像品質が悪化すること、顧客にとって不利益であり、レンタルビデオ視聴中にトラッキング不良等により、ノイズ発生や視聴不能状態に陥る場合がある。

【0011】

(5) ビデオソフトの不正コピーの流出が、従来から指摘されており、映像ソフトがデジタル化すると、不正コピーの出現は、映像製作会社やビデオソフトメーカーの経営をゆるがす致命的な問題となる。

【0012】

そこで、本発明は、上記のような貸し出し事業者及びビデオソフトメーカーの問題点、効果的なCMの問題点、画質劣化に应答する記録媒体の供給の問題点、不正コピーの問題点を削減或いは解消することを課題とする。

【0013】

【課題を解決するための手段】

本発明は、各種著作権協会、映像製作会社、ビデオソフトデュプリケーター、

貸し出し事業者および顧客との間で各種契約を締結し、その契約と、インターネットおよびPOS端末を介して各種著作権協会、映像製作会社、ビデオソフトデュープリケーター、貸し出し事業者および顧客が相互に提供、共有するダビングや貸し出しに関わるデータ情報に基づいて、映像マスター、子マスター記録媒体の使用料や、貸し出し記録媒体のレンタル料金を徴収する新しい映像記録媒体の流通システムを提供するものである。また、貸し出し用映像記録媒体に記録されたCM情報とインターネットを融合した新しい広告システムを提供する。

【 0 0 1 4 】

具体的には、ビデオソフトの頒布権行使委託契約を映像製作会社とビデオソフトデュープリケーター（複製業者）の間で締結し、前記ビデオソフトデュープリケーターは映像製作会社から、記録媒体へコピー可能な映像マスターの配布を受け、前記ビデオソフトデュープリケーターから前記映像製作会社には締結された前記頒布権行使委託契約に基づき定められた映像マスターの使用料が支払われ、前記ビデオソフトデュープリケーターでは前記映像マスターを記録した前記記録媒体（以下、子マスター記録媒体）を作成し、前記子マスター記録媒体を貸し出し事業者の有償で貸与し、前記ビデオソフトデュープリケーターと前記貸し出し事業者の間では上記子マスター記録媒体等に関わる供与契約が締結され、前記貸し出し事業者では顧客の所望するビデオソフトが記録された前記子マスター記録媒体から、顧客に貸し出す持ち運び可能な記録媒体（以下、リムーバブル型記録媒体と略す。）にビデオソフトを記録し、前記リムーバブル型記録媒体を貸し出す際に前記顧客と前記貸し出し事業者との間で結んだレンタル契約に基づいたレンタル料金を、前記貸し出し事業者は前記顧客から徴収し、前記ビデオソフトデュープリケーターで前記映像マスターから作成された映像タイトル名と、前記映像マスターから作成した前記子マスター記録媒体の本数と、前記子マスター記録媒体を配布した貸し出し事業者名と、前記貸し出し事業者で前記子マスター記録媒体から顧客貸し出し用に作成した映像タイトルと、前記リムーバブル型記録媒体の本数と、貸し出し期間と、貸し出しを受けた前記顧客の属性と、および前記顧客から前記貸し出し事業者への返却に関する情報とを、各種著作権協会、映像製作会社、ビデオソフトデュープリケーター、および貸し出し事業社間に相互に接続されたイン

ターネットとPOS（POINT OF SALES）と呼ばれる端末を介して交換し、著作権料と、上記の商行為に対して予め定められた料金の請求と、徴収とを相互かつ正確に行うことを特徴とする。

【0015】

また、本発明は、広告契約をビデオソフトデuplicレーターと締結したCMスポンサーが希望するコマーシャル（以下、CMと略す。）映像を映像製作会社同意のもとで、映像ビデオソフトの放映が開始する前か又は終了した後に挿入した子マスター記録媒体を前記ビデオソフトデuplicレーターで作成するか、CM映像のみを記録した前記子マスター記録媒体を前記ビデオソフトデuplicレーターで作成し、貸し出し事業者でリムーバブル型記録媒体にビデオソフトを記録する際に貸し出し用リムーバブル型記録媒体に同時に記録し、前記CMを挿入することにより、前記ビデオソフトデuplicレーターはCM料金を前記CMスポンサーから徴収し、前記ビデオソフトデuplicレーターと前記貸し出し事業者間で交わした契約に基づいて前記CM料金の一部を前記貸し出し事業者に配布することを特徴とする。

【0016】

〔作用〕

ビデオレンタル業全体の経営の安定をもたらす新しいレンタルビデオソフトの流通システムを、上記課題の問題点（3）項は、時間の経過とCM提供者の要求に応じて、挿入するCMを随時新しいCMに変更していくことができる流通システムを、また、問題点（4）項は、磁気テープに変わる新しいレンタル用記録媒体をそれぞれ求めることで解決できる。以下に、本発明の貸し出し用映像記録媒体の流通システムにおいてそれぞれの問題点を解決する手段を説明する。

【0017】

問題点（1）である貸し出し事業者が抱える不良在庫と機会損失の問題は、ほとんどの場合、新作ビデオソフトで発生する問題である。新作ビデオに対して貸し出し事業者が最も苦慮する点は、仕入れ本数による不良在庫と機会損失の問題だけではなく、すなわち金曜、土曜、日曜の週末に顧客が集中するために、機会損失を来すが、平日は多くが在庫状態で店頭にあるというレンタルのばらつきも

解決したい課題である。

【0018】

本流通システムでは、レンタル回転数の多い新作ビデオの子マスター記録媒体を、貸し出し事業者が所有し、子マスター記録媒体から持ち運び可能なリムーバブル型記録媒体に記録して、対応できるレンタル分の新作ビデオソフトの購入を減らすことができる。

【0019】

リムーバブル型記録媒体は記録するビデオソフト書き換えが可能なことから、週末等に想定されるビデオソフト不足に起因する機会損失を減らすことができるとともに、平日、店頭に置かれている非レンタル状態のビデオソフトの本数を極力少なくすることができる。また、新作ビデオソフトの購入本数が減る分だけ、映像製作会社が減収となることが予測されるが、映像製作会社には本流通システムを通して、顧客から徴収されるレンタル料金の一部が貫流するため、従来のように新作ビデオの磁気テープや光ディスクを売り切る販売方式よりも、高い売上高を得ることもできる。

【0020】

また、問題点（2）として、ビデオソフトメーカーにとって、貸し出し用磁気テープの本数が問題となることは上記問題点（1）と同様に解決できるが、さらに、第2のレンタル用ビデオテープがセルビデオ市場へ低価格で流出し、セルビデオテープ価格の低下をもたらす問題点は、前述したようにレンタル用ビデオテープの販売本数を極力低く抑え、貸し出し回転率を上げることによって防止できる。その理由は、もともとレンタル用ビデオテープの本数が少なくなっていること、貸し出し回転率の高いレンタル用ビデオテープは画像劣化の程度も著しくセルビデオ市場に流出しえないことの2点である

また、問題点（3）による、第3の磁気テープを用いた従来のビデオソフトに挿入されたCMが、貸し出し開始からの時間の経過に伴って陳腐化する問題は、顧客に貸し出すリムーバブル型記録媒体に、ビデオソフトを記録する際に、新しいCMを同時に記録すれば、解決することができる。新しいCMの提供は、ビデオソフトメーカーが、CMスポンサーと広告に関わる契約を結び、その契約に基

づいて、使用が許諾されたCMを記録した子マスター記録媒体を貸し出し事業者に提供し、それをビデオソフトの放映が開始する前か、終了した後に、CMを挿入することにより達せられる。このCM提供システムは、新たな収入源となり、CMスポンサーから得られたCM料金は、契約に基づいてビデオソフトメーカーと貸し出し事業者とに配分される。

【0021】

また、問題点（４）として、従来のビデオソフトが磁気テープであるという問題点は、本発明の流通システムの根幹に関わる問題ではないが、以下のような理由により、本流通システムに最も適した記録媒体は磁気ディスク装置に使用される時期ディスク媒体であり、いわゆるハードディスク装置（HD）といわれ、次は、DVD-RAMやCD-R、CD-RWのような書き換え可能型光ディスクである。貸し出し事業者では、顧客の希望に応じて所有する子マスター記録媒体に記録されているビデオソフトを、できるだけ短時間に貸し出し用のリムーバブル型記録媒体に記録する必要がある。予め商品の不足を予測して、そのビデオソフトを記録したリムーバブル型記録媒体を用意しておくこともできるが、このような事前のコピー行為は、基本的にビデオソフトを用意することになり、予測が外れる場合もありうる。また、複数のビデオソフトを１台のリムーバブル型記録媒体に記録して、貸し出しを希望する顧客も想定されることから、短時間に貸し出し用のリムーバブル型記録媒体に記録することは、本発明の流通システムを支える基本要素と考えられる。記録時間（ダビング時間）の短縮という点で、最も適した記録媒体は、磁気ディスク装置であり、貸し出し用には、リムーバブル型磁気ディスク装置が最適であるといえる。ただし、事前に電話やインターネットを介して、顧客から予約を取り、来店時間を指定する貸し出しシステムを採用すれば、DVD-RAMのような、ダビングにビデオソフトの放映時間と同一の時間を要する書き換え型光ディスクを用いることもできる。

【0022】

また、CM情報を挿入したリムーバブル型記録媒体と、インターネットを融合することにより、見たいときに希望のCMを見ることができるといった、顧客に利益を与える新しい広告システムを提供することができる。

【 0 0 2 3 】

【発明の実施の形態】

本発明の実施形態について、図面を参照しつつ詳細に説明する。

【 0 0 2 4 】

〔第 1 の実施形態〕

(1) 構成の説明

図 1 は本発明の第 1 の実施形態である流通システムを表す図である。図 1 に基づいて、本発明の構成を詳細に説明する。なお、説明を分かりやすくするために本構成の説明では、映像マスターとしては映像情報をデジタル化したデジタルマスターテープを、子マスター記録媒体や CM 情報のみを記録した子マスター記録媒体には磁気ディスク装置を、貸し出し用記録媒体にはリムーバブル型磁気ディスク媒体をそれぞれ用いた実施形態について詳述する。

【 0 0 2 5 】

また、映像製作会社 1 は、映像マスターを作成するもので、ハードウェアとしては脚本に沿った映像を撮影する撮影用カメラと、フィルムで起こされた場合にはデジタル画像に変換するデジタル画像変換処理装置と、それらの管理・制御用のサーバー端末等が備えられている。

【 0 0 2 6 】

また、ビデオソフトデュープリケーター（複製業者）2 は、映像製作会社 1 から供与された映像マスターから、子マスター記録媒体に複製するための複製装置を備え、映像マスターのタイトル名や、その主演者の俳優名、映像時間などの情報、何本の子マスター記録媒体を作製したか等の管理と運営用のサーバー端末によって、経営、運営上の数字的な管理を行っている。

【 0 0 2 7 】

各種著作権協会 5 は、著作権に関する著作権者と契約した内容に従って、映像マスター或いは音楽、芸術等の著作権に応じた料金の徴収と、著作権侵害に対する管理と、徴収した料金を各著作権者へ分配する配分等の役割を実行しており、それぞれの役割に応じたサーバー端末により運営している。

【 0 0 2 8 】

貸し出し事業者3は、ビデオソフトデュプリケータ2から分配された子マスター記録媒体に基づいて顧客に貸し出す持ち運び可能な記録媒体（リムーバブル型磁気ディスク媒体）を製作するリムーバブル型記録媒体製作装置としてダビング専用の専用サーバー端末を備え、需要に応じたりムーバブル型磁気ディスク媒体を製作し、希望する顧客に貸し出す事業を行う。また、貸し出した時と引き取ったときとの期間計算と、貸出料金を計算して、顧客から貸出料金の徴収を行うサービス業のためのサーバー端末及び／又はPOS端末を備え、ネットワークを介して協力関係のある他の貸し出し事業者との連絡や各種著作権協会やビデオソフトデュプリケータ2との情報交換やその他情報の通信を行うネットワーク用端末装置を備えて、運営の高効率化を求めている。

【0029】

顧客4は、一般貸し出し用のリムーバブル型記録媒体を数時間又は数日、貸し出し事業者3から貸し出しを受けるユーザであり、著作権の問題から違法なダビングの禁止を求められる。

【0030】

（2）流通システムの動作の説明

まず、映像製作会社1は映像マスターを製作して、映画館や音楽会等に供給する一方、レンタル用に分配する用意をする。

【0031】

つぎに、ビデオソフトデュプリケータ2と、映像版權を有する映像製作会社1との間で、ビデオソフトの頒布権行使委託契約11を締結する。ビデオソフトデュプリケータ2は映像製作会社1から、磁気ディスク装置に直接記録可能なデジタルマスターテープの有償配布13を受ける。また、ビデオソフトデュプリケータ2から映像製作会社1へ映像マスターの使用料金の支払い12を行い、貸し出し情報および返却情報データ14を共有する意味で、映像マスターから映像タイトル名、子マスター記録媒体の作製本数、返却期日などの情報を通知し合う。

【0032】

また、ビデオソフトデュプリケータ2は各種著作権協会5との関係では、著

作権に関する映像マスター及び子マスター磁気ディスク媒体のタイトル名と複製の本数等の情報通知義務を使用料徴収委託契約51によって契約し、また実績から計算した著作権料金支払い52を行う。

【0033】

また、ビデオソフトデュプリケーター2と貸し出し事業者3の間では、上記子マスター記録媒体等に関わる供与保守契約21が締結される。ビデオソフトデュプリケーター2では貸し出し事業者3向けに、デジタルマスターテープをもとに子マスター記録媒体として映像情報を記録した子マスター磁気ディスク媒体とその貸し出し備品の供給22を、物理的な手段、具体的には宅配便などにより貸し出し事業者3に配布される。貸し出し事業者3からビデオソフトデュプリケーター2へ子マスター磁気ディスク媒体の使用料金支払い23を行い、貸し出し情報および返却情報データ24を通知する。

【0034】

また、デジタルマスターテープの映像情報を、衛星放送もしくはインターネットを介して、複数の貸し出し事業者3に同時に配信され、貸し出し事業者3で直接、子マスター磁気ディスク装置が作成される場合もある。

【0035】

また、貸し出し事業者3と顧客4の間では、まず相互にレンタル料金、レンタル期間、レンタル料金等のレンタル契約31を行い、リムーバブル型記録媒体を貸し出し32を行い、顧客4から貸し出し事業者3へレンタル料金支払い33が現金或いはクレジットで行われる。

【0036】

また、広告契約をビデオソフトデュプリケーター2と締結したスポンサーが希望するCM映像を、映像製作会社1の同意のもとで、映像ビデオソフトの放映が開始する前か、終了した後に挿入した子マスター磁気ディスク装置をビデオソフトデュプリケーター2で作成するか、もしくはCM映像のみを記録した子マスター磁気ディスク装置をビデオソフトデュプリケーター2で作成する。一方、映像ビデオソフト情報と同様に、CM情報を衛星放送もしくはインターネットを介して、複数の貸し出し事業者3に同時に配信し、貸し出し事業者3でCM付きのC

M子マスター磁気ディスク装置が作成される場合もある。

【0037】

貸し出し事業者3において、例えば、レンタル用映像磁気テープが貸し出し用として準備されていることを確認した顧客は、顧客の希望により、映像ビデオソフトとCM情報が記録されたリムーバブル型磁気ディスク装置の貸し出しを受けることができる。この際に、貸し出し事業者3では、映像ビデオソフトを記録した子マスター磁気ディスク装置とCM情報を記録した子マスター磁気ディスク装置をもとに、それらの情報を記録したリムーバブル型磁気ディスク媒体が作成されるが、このダビング処理は、貸し出し事業者3に設置された専用サーバー端末を用いて行われる。

【0038】

リムーバブル型磁気ディスク媒体を貸し出す際に、顧客4と貸し出し事業者3との間で結んだレンタル契約に基づいたレンタル料金を、貸し出し事業者3は顧客4から徴収する。また、この貸し出しの際に、リムーバブル型磁気ディスク媒体に記録した映像タイトル名、貸し出し期間、貸し出した顧客名、顧客管理用の顧客の属性データを印刷した貸し出しおよび顧客管理用ラベルが、専用サーバー端末と一体となったラベルメーカー装置により作成される。作成したラベルを貼り付けたリムーバブル型磁気ディスク媒体が顧客に貸し出される。この際、ラベルリーダーを備えたPOS端末で映像タイトル名、貸し出し期間、貸し出した顧客名、顧客管理用の顧客の属性データが、上記一連の商行為に関係する各種著作権協会5、映像製作会社1、ビデオソフトデuplicレーター2、貸し出し事業者3間で共有し、各者の間で交わされる使用料金請求の根拠を確認するためのデータとして用いられる。

【0039】

また、顧客がリムーバブル型磁気ディスク媒体を返却した際に、その貸し出しおよび顧客管理用ラベルの読み取りを行い、返却の確証とされる。このラベル処理による使用料金請求の他に、各種著作権協会5、映像製作会社1、ビデオソフトデuplicレーター2、貸し出し事業者3が所有するサーバー端末がインターネットを介して結合しており、ビデオソフトデuplicレーター2で映像マスターか

ら作成された映像タイトル名、それぞれの映像デジタルマスターテープから作成した子マスター磁気ディスク媒体の本数、子マスター磁気ディスク媒体を配布した貸し出し事業者名、貸し出し事業者3で子マスター磁気ディスク媒体から顧客貸し出し用に作成した映像タイトル、リムーバブル型磁気ディスク媒体の本数、貸し出し期間、貸し出しを受けた顧客4の属性、および顧客4から貸し出し事業者3への返却に関する情報を共有することができ、この共有したデータに基づいて著作権料、上記の商行為に対して相互に合意のうえで予め定められた料金の請求、徴収が行われる。

【0040】

上記一連の商行為を正確かつ効率よく行うためには、ビデオソフトデュプリケーター2と貸し出し事業者3間で一連の商行為に関わる各種経営データ情報と、ダビング処理等の技術的な行為を行うサーバー端末やPOS端末の一元的な保守管理は必須である。このため、貸し出し事業者3に設置されたダビング用のサーバー端末装置、ダビング用サーバー端末装置と連動して貸し出し用ラベルを作成するラベルメーカー、POS端末機装置、子マスター磁気ディスク媒体の駆動装置、および貸し出し用のリムーバブル型磁気ディスク媒体の記録媒体の保守管理に関わる業務委託契約をビデオソフトデュプリケーター2と貸し出し事業者3との間で締結し、委託契約に関わるすべての機器や記録媒体の配送、保守、管理の業務に関わる費用を、貸し出し事業者3からビデオソフトデュプリケーター2がインターネットもしくはPOS端末を介して相互に得られる情報に基づいて徴収するシステムが構築されている。

【0041】

不正なコピー行為によるデジタル映像情報の流出を防止するために、子マスター記憶媒体とリムーバブル型記録媒体自身にクロック機能を設け、ビデオソフトデュプリケーター2／貸し出し事業者3間および貸し出し事業者3／顧客4間で契約した一定時間経過後または所定のダビング回数に達した時点で、それぞれの記録媒体から自動的に映像情報が消去されるような機能をリムーバブル型磁気ディスク媒体を装着した駆動装置に持たせることも可能である。

【0042】

〔第2の実施形態〕

次に、本発明の第2の実施形態による広告システムについて、図2に基づいて説明する。はじめに、ビデオソフトデuplicater 2とCMの広告スポンサー9が広告契約を交わし、ビデオソフトデuplicater 2はCMスポンサー9が著作権を有するCMのデジタルマスターテープの配布を受ける。その配布に対応して広告スポンサー9はビデオソフトデuplicater 2に広告料金を支払う。このCM情報をビデオソフトデuplicater 2でビデオソフト情報の前後に、記録した子マスター磁気ディスク媒体か、CM情報のみを記録した子マスター磁気ディスク媒体を作成し、貸し出し事業者3に配布するか、ビデオソフトと同様に衛星放送、インターネットを介して貸し出し事業者3に配信し、CM情報を記録した子マスター磁気ディスク媒体を作成する。貸し出し事業者3ではこれらの子マスター磁気ディスク媒体をもとにビデオソフトとCM情報が記録されたリムーバブル型磁気ディスク媒体を顧客4に貸し出す。

【0043】

ビデオソフトデuplicater 2はCMスポンサー9の有するCM情報が記録されたリムーバブル型磁気ディスク媒体の貸し出しデータをインターネットとPOS端末機から収集し、そのデータに基づいてCMスポンサー9からCM料金として広告料金を徴収する。ビデオソフトデuplicater 2は、貸し出し事業者3と交わした契約に基づいて、CM料金の一部を貸し出し事業者3に配布する。また、CM映像内にCMスポンサー9が提供するホームページ、プレゼント、宝くじなど、顧客4が利益を受けることができる情報画面に移行するアイコンを設け、顧客4がCM映像視聴中にアイコンをクリックすると、インターネットを介して上記情報画面に移行する。

【0044】

顧客4は、貸し出し事業者3からレンタルしたリムーバブル型記録媒体17をリムーバブル型記録媒体再生装置18に装着して、テレビやモニター等のテレビ画面19に表示し、アイコン1、2、3等の選択ポジションが表示されるので、キーボード或いはマウス等の操作盤によってアイコンをクリックする事で、顧客4自身の好みの印象を提示する。このアイコン指定の情報は、テレビに接続した

モデム等のネットワーク回線との接続によって、予め設定しておいた通信プロトコルによって通信可能状態で、伝送され、ネットワークのインターネットを介して、ネットワークサーバー10に通知される。

【0045】

ビデオソフトデュプリケーター2は、サーバー10を介して指定されたアイコンに応じた情報を受け取り、上記ホームページ、プレゼント、宝くじなどの画面移行中に、CMスポンサー9の許諾を受け、予めテレビで放映され、リムーバブル型記録媒体17とは異なる別の記録媒体に記憶されたCM画像を提供する。上記一連の行為を行った顧客4の数、顧客4の属性をインターネットを介して収集記録し、上記一連の行為を行った顧客4の数に応じて、また収集記録した顧客4の属性をCMスポンサー9に提供することによって、CM料金をCMスポンサー4から徴収し、その徴収料金をビデオソフトデュプリケーター2と貸し出し事業者3との間で交わした契約に基づいて、両方で配分する広告システムも提供できる。

【0046】

この場合の広告料金は、CMに対する実績数に応じて支払うので、広告スポンサー9にとっても広告効率は高くなり、予測した数に応じて支払う広告料金よりも、その広告に対応する販売数との関係は別として、広告の伝送達成率は明確となる。

【0047】

また、上記実施形態において説明した内容に加えて、本発明に関しては、上述の〔作用〕の欄で説明した内容も本実施形態に適用できることは勿論である。例えば、貸し出し事業者3が貸し出し記録媒体に従来の磁気テープよりも、ハードディスク等の磁気ディスク装置やビデオディスク等のほうが、高速なダビング機器を使用することで、映像の実時間よりもデータコピーによって高速にダビングできることを説明している。

【0048】

また、上記実施形態では、レンタル種類として、主に映像情報について説明したが、音声情報であっても、辞書や美術情報等、或いはパソコン用のソフトウェア

ア等の多彩なマルチメディアを提供することも可能である。

【 0 0 4 9 】

【発明の効果】

本発明の効果を以下に列挙する。

(1) ビデオ貸し出し事業者が抱える不良在庫と機会損失という二律背反の問題を解決することができる。

(2) 映像製作会社には本流通システムを通して顧客から徴収されるレンタル料金の一部が貫流するため、従来よりも高い売上高を得ることもできる。

(3) レンタル用ビデオテープがセルビデオ市場へ低価格で流出することを防止できる。

(4) 不正コピーによるデジタル映像情報の流出やビデオ市場の混乱を防止することができる。

(5) 従来とは異なり、常に新しいCM情報を貸し出し用記録媒体に挿入し、顧客に視聴させることができ、従来の挿入CMに比較すると、高いCM効果を期待できる。

(6) このCM提供システムは新たな収入源となり、CMスポンサーから得られたCM料金は、契約に基づいてビデオソフトメーカーと貸し出し事業者の経営が安定化する。また、顧客にとっても利益のある広告システムを享受することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の一実施形態である流通システムを示す図である。

【図 2】

本発明の一実施形態である広告システムを示す図である。

【図 3】

従来の映像記録媒体の貸し出しに関する流通システムを示す図である。

【図 4】

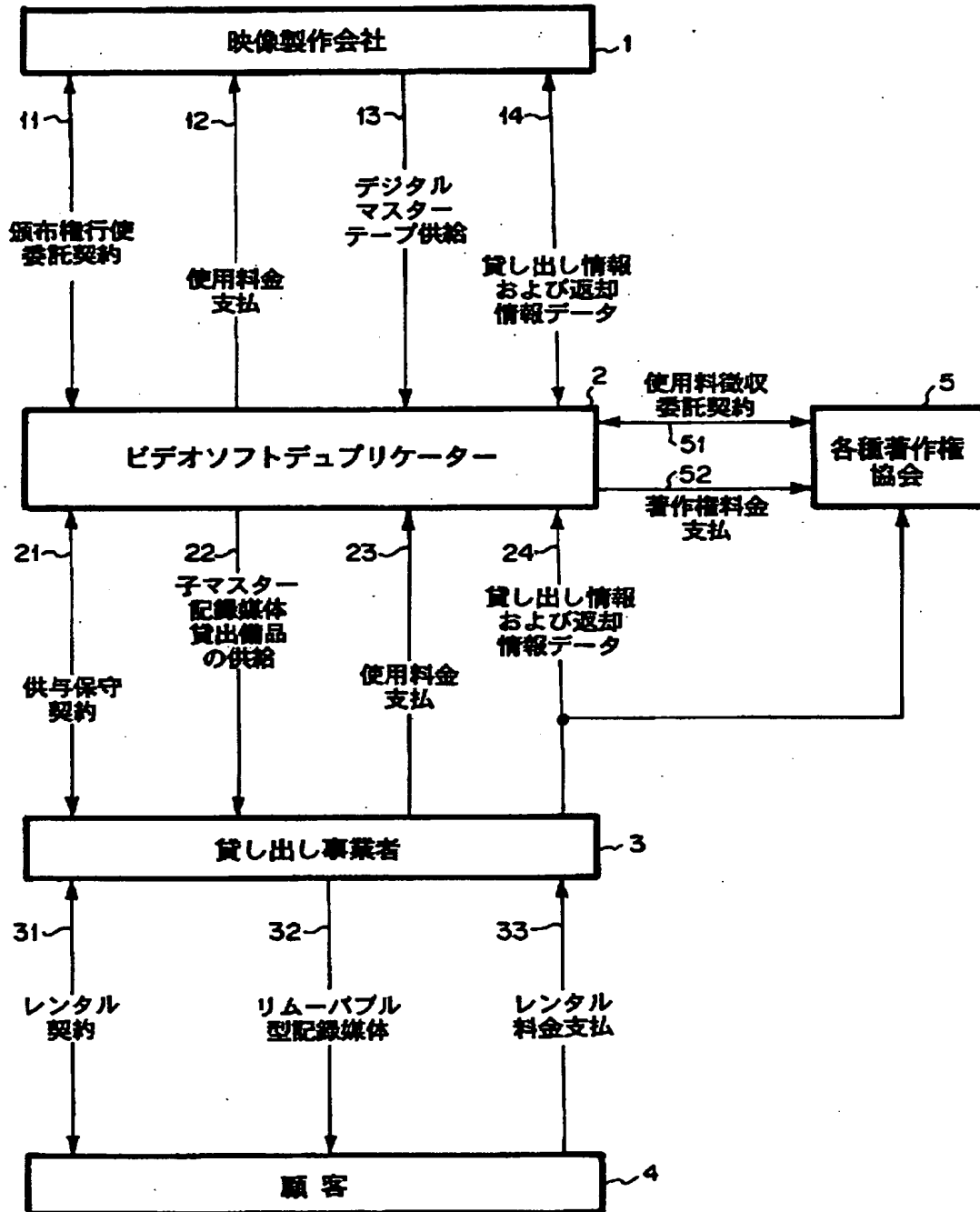
従来の著作権等の使用許諾契約に関する関連図である。

【符号の説明】

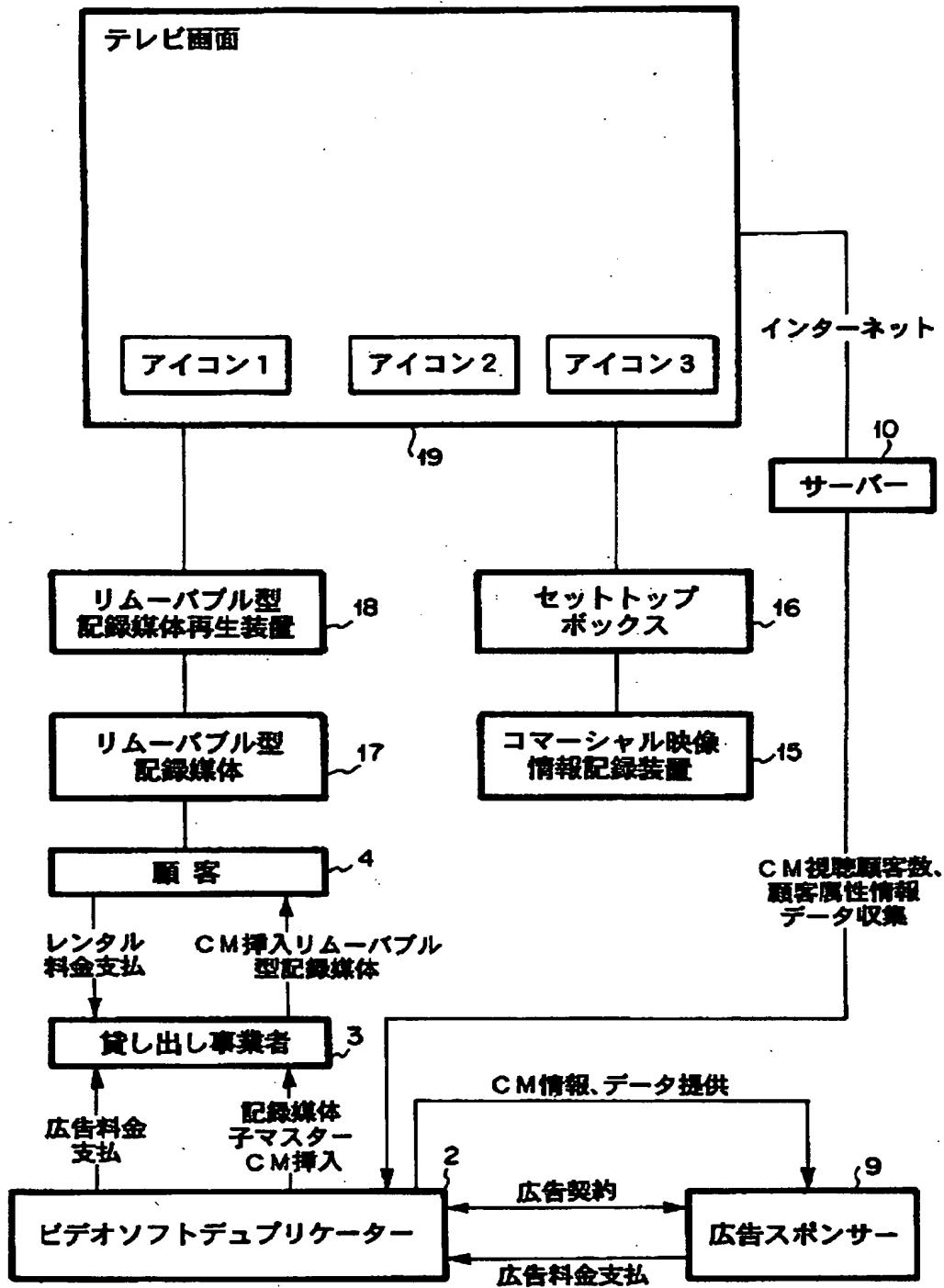
- 1 映像製作会社
- 2 ビデオソフトデュープリケーター
- 3 貸し出し事業者
- 4 顧客
- 5 各種著作権協会
- 6 ビデオソフトメーカー
- 7 卸業者
- 8 頒布権委託協会
- 9 広告（CM）スポンサー
- 1 0 サーバー
- 1 5 コマーシャル映像情報記録装置
- 1 6 セットトップボックス
- 1 7 リムーバブル型記録媒体
- 1 8 リムーバブル型記録媒体再生装置
- 1 9 テレビ画面
- 2 1 供与保守契約
- 3 1 レンタル契約
- 5 1 使用料徴収委託契約

【書類名】 図面

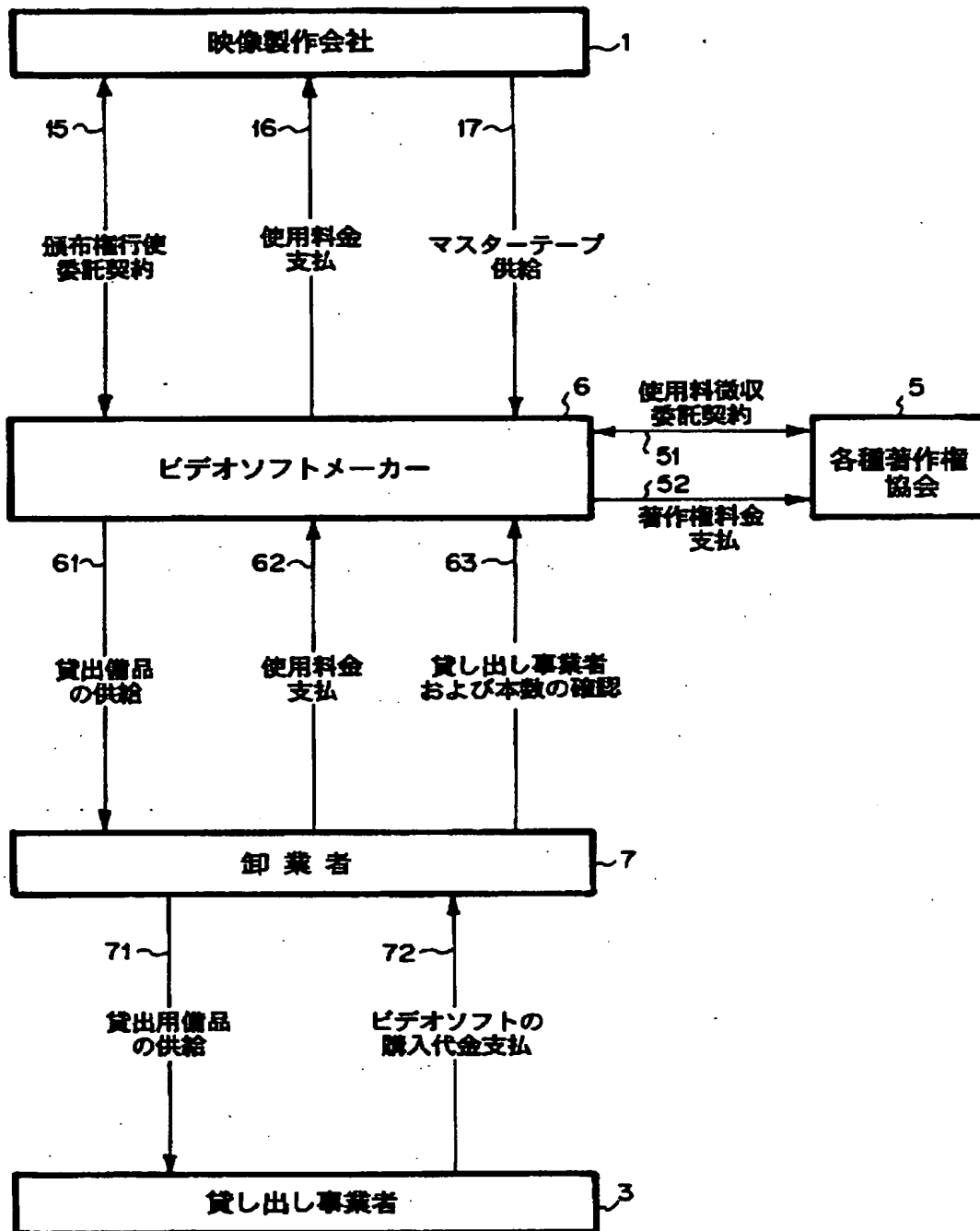
【図1】



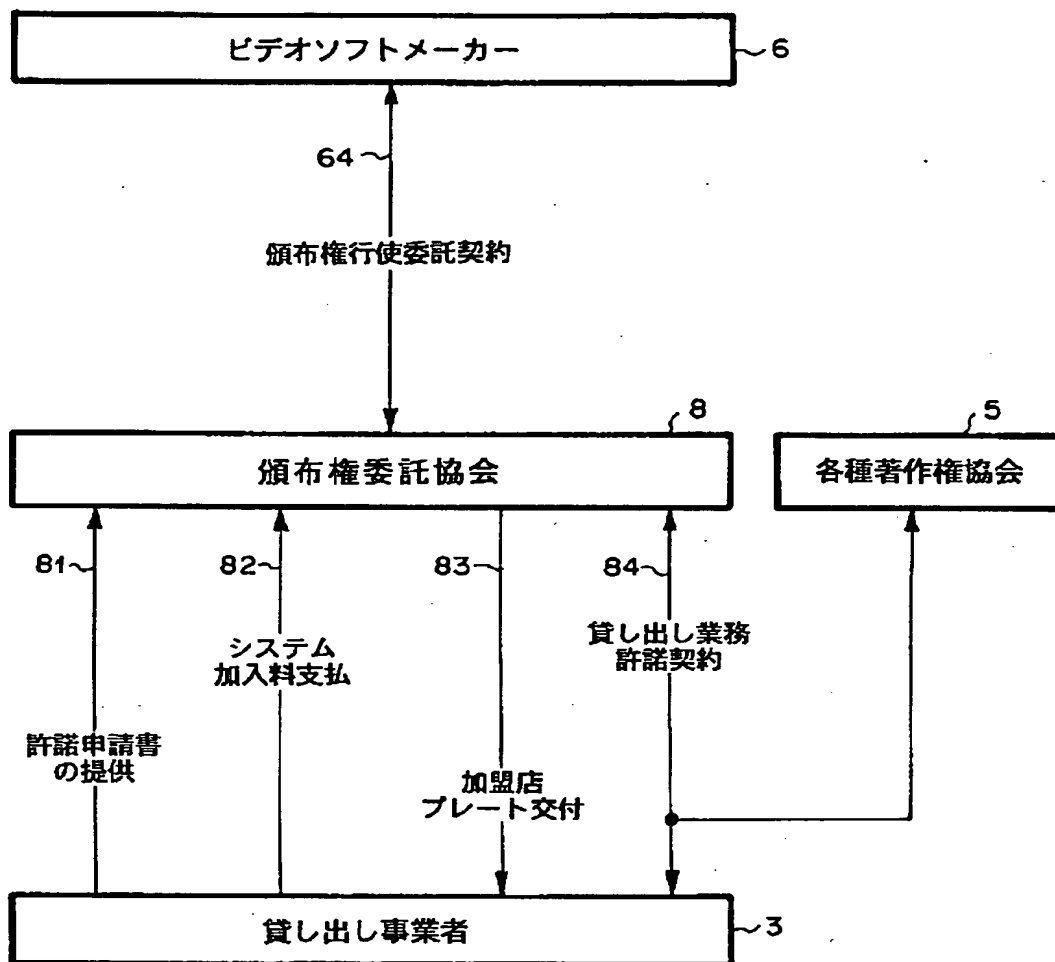
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ビデオソフトの貸し出し業者のソフトの過剰在庫と機会損失を解決し、映像ソフトに常に新しいCM情報が挿入できる広告システムを提供することを課題とする。

【解決手段】 映像マスターから子マスター記録媒体を複製し、この子マスター記録媒体からリムーバブル記録媒体を製作して貸し出し用とする貸し出し用映像記録媒体の流通システムにおいて、映像マスターから、少なくとも映像タイトル名の情報付帯して子マスター記録媒体を複製する子マスター記録媒体複製装置と、子マスター記録媒体からリムーバブル記録媒体を製作するダビング装置と、該ダビング装置によるリムーバブル記録媒体に貼り付けるラベルを作製するラベルメーカー装置と、貸し出し及び納付時に運営情報を通報するPOS端末とを備え、前記リムーバブル記録媒体に少なくとも映像タイトル名等のラベルが添付され、納付の際に前記POS端末に必要事項を入力することを特徴とする。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日	1990年 8月29日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都港区芝五丁目7番1号
氏 名	日本電気株式会社